リハ部おすすめ

エクササイズ

当てはまる症状があれば

摂食嚥下障害（せっしょくえんげしょうがい）
（飲み込む動作に障害がある状態）

の疑いがあります



- 食べるのが遅くなった
- 硬い食べ物が食べにくくなった
- 食べ物や飲み物が、飲み込みにくくなった
- 食事中や食後にむせる
- 痰がよく絡んだり、よだれがでてしまう
- 体重が急に減ってきている

今日からできる 対策

調理で工夫をする

- **パサつく、ばらばらで口の中でまとまらない物**
  マヨネーズやあんかけでまとまりやすく
- **水分や汁物**
  とろみをつけることで、むせを防ぐ

しっかりと意識をして飲み込む

飲み込みに必要な力を付ける

歯磨きや義歯の掃除をしっかり
汚れが少ないと、誤嚥性肺炎の防止に繋がります

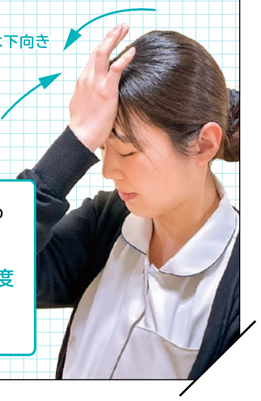
舌の運動やおでこ体操などをやってみる

長く安全に食事を楽しんで食べられるようにしていきましょう！

ノドを鍛える

嚥下おでこ体操

1. 額に手を当てて抵抗を加える
2. おへそを覗き込むように強く下を向く



即時効果もあるため
毎食前に
5秒間×10回程度
やってみましょう

pickup news

院内感染対策委員会の活動



院内での医療関連感染の発生を未然に防止する事、発生した感染症が拡大しないように速やかに制圧、終息を図る事を目的に活動しています。
活動のひとつとして、毎週金曜日に院内巡視(ICTラウンド)を行っています。
問題となる感染症の発生状況を把握し、実際にベッドサイドへ行き療養環境が適切であるかを多職種と検討したり、各部署をラウンドし手指衛生や日頃の感染対策が適切であるかの確認や指導を行っています。また、院内研修を通して職員の院内感染防止に対する知識の向上を目指しています。

SORABITOを知る！ Vol.09

Relay Interview リレーインタビュー



放射線室

石山絵美

気づけば、とりこ

猫が好きです。幼いころから犬と育った生粋の犬好きのわたしが、ひょんなことから猫と暮らし始め世界は変わってしまいました。猫は別に言うことを聞いてくれないし、うちのソファは傷だらけ。犬は笑顔に見えることもあるけど、よく考えたら猫はいつもスン、と無表情です。でもあの無防備な寝顔、ふわふわの抱き心地、たまにすり寄ってにゃあ、と甘える仕草、かわいい。今年19歳のおばあちゃんだけど、ずっとかわいい。何なら、人の家の猫も、SNSでみる色んな猫も、近所の野良猫もみんなかわいい。神様、猫を誕生させてくれてありがとうございます。世の中の全ての猫に幸あれ。

NEXT! 次号 Vol.10は… 薬剤部のSORABITOへ！

基本方針

患者さん中心の医療	「笑顔であいさつ」を心掛け、患者さん中心の心の通った医療を行います
質の高いチーム医療	「専門職としての知識・技術の向上」に努め、質の高いチーム医療を実践します
地域に貢献できる医療	「ともに生きる」の精神で、地域の皆さまと安心して暮らせるまちづくりに取り組みます

医療法人同仁会
おおぞら病院
OOZORA HOSPITAL

〒791-8555 愛媛県松山市六軒家町4-20
TEL 089-989-6620（代表）
FAX 089-989-6619
平日 9:00～17:00(休診日を除く)

JR　JR松山駅より タクシー約3分 または伊予鉄市内電車に乗換
伊予鉄電車　伊予鉄市内電車・城北線 萱町六丁目駅 下車 徒歩約5分
伊予鉄郊外電車・高浜線 古町駅 下車 徒歩約10分
バス　勝岡・運転免許センター線 北宮西町バス停 徒歩約3分

WEB



私たちは、地域の皆さまに親しまれ、信頼され、満足される病院を目指します

おおぞら病院 広報誌「そら」

SORA そら

Vol.41
2026.05
TAKE FREE

リハ部おすすめ エクササイズ
喉を鍛える！
嚥下おでこ体操

「特集」栄養管理室の取り組み
“栄養ケア”
食から患者さんを支える

pickup news
院内感染対策委員会の活動

リレーインタビュー 石山絵美
気づけば、とりこ

MESSAGE

地域の皆さまに支えられながら、新年度を迎えることができました。
日々お世話になっている皆さまに改めて心より感謝申し上げます。

近年は高齢化の進展に加え、医療提供体制の見直しが進んでいます。「急性期から在宅までをどうつなぐか」が大きな課題となっています。特に脳卒中や骨折といった疾患においては、急性期治療後の適切なリハビリテーションや生活復帰支援が、その後の人生の質を大きく左右します。

当院は、こうしたニーズに応えるべく、亜急性期（超急性期を過ぎた時期）の段階から患者さんを受け入れ、早期からのリハビリテーションと多職種連携による支援体制を整えてまいりました。単に機能回復を目指すだけでなく、「その人らしい生活」への復帰を見据えた医療の提供を大切にしています。

これからも地域に根差した病院として、かかりつけの患者さんはもちろん、地域の医療機関の先生方との連携をより一層深め、安心してご紹介いただける存在であり続けたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



おおぞら病院
院長
吉田 直彦

おおぞら病院の

栄養ケア

食から患者さんを支える



栄養管理室では、患者さんの症状に応じた食事づくりと栄養管理を行っています。
衛生管理を徹底した安全でおいしい食事の提供に加え、栄養相談や栄養指導を通して、退院後のライフスタイルや食生活を見据えた支援にも取り組んでいます。

POINT 01 院内調理で作りたてを提供

病棟では院内調理により、できたての食事を提供しています。
温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、温冷配膳車で適切に温度管理しながらお届けしており、患者さんからも好評をいただいています。入院中はさまざまな面でストレスを感じることも多い中で、「一日三食の食事が楽しみのひとつになってほしい」という想いのもと、スタッフ一同心を込めて取り組んでいます。



できたてのおいしさを
そのままお届けできるよう、
温度管理を徹底しています



一品一品ていねいに盛り付け、
患者さんの食べやすさにも
配慮しています



人気メニューのミートスパゲッティ

POINT 02 治療の一環でありながら楽しんでもらえる食事を目指して

一般食や治療食については、患者さんの症状や希望に合わせて調理加工し、食べやすい形態にしています。
また、週に1回昼食が麺の日を設けていますが、これまでうどん中心だったメニューを見直し、現在はミートソーススパゲッティや焼きそばなどバラエティ豊かになっています。

患者さんの
症状や
希望に合わせて
食べやすい
形態に



常食

軟食(一口大)



POINT 03 行事食で季節を感じてもらう

節分やひな祭りなど、季節の行事に合わせた特別メニューを提供しています。入院中でも季節を感じていただけるよう工夫しています。



POINT 04 患者さんの声をこれからの食事づくりへ

満足度アンケート を通して、患者さんの声を丁寧に受け取り、食事づくりに反映しています。

患者さんの声

私がおおぞら病院に入院して仲良しになったカーテン越しのお隣さん。
2人で「今まで色んな病院に行ったけど、ここの病院食が一番美味しいよね」と、毎日の食事に大満足。
栄養をつけ、リハビリにも励み回復することが出来ました。
お世話になった皆様に感謝しかないです。ありがとうございました。

50歳代女性

満足度アンケート
食事全体の
満足度
84.8%
「満足」「やや満足」での回答
2025年12月実施(回答数79名)

患者さんの声

入院中の唯一の楽しみは食事でした。毎日、温かい食事が配られてきたのには感激しました。
やはり温かいのが一番です。また、1週間の献立もあり、次のメニューを楽しみに待つことができました。
うどん、カレー、スパゲッティ、旬のイチゴ、パンの日もあり、とてもバラエティ豊かなメニュー。その上に、栄養もバッチリ!
節分には豆ごはん、ひな祭りにはちらし寿司と、それで季節を感じることもできました。味付けもよかったです。

60歳代女性

患者さんの声

日頃から我々のためにご尽力頂きありがとうございます。栄養士さん調理師さんのバランスのとれた美味しい食事を用意して頂き感謝しております。
お陰様で体力もつき、著しい回復で感謝しております。

70歳代男性



患者さんの声

ちょっと味は薄いけど、それなりに美味しいですよ。
満足しています。
ひな祭りのお寿司などはいつもと違ってちょっと変わっていて、いいと思います。

70歳代男性



貴重なご意見を
ありがとうございます

皆様の声をもとに、栄養士・調理員一同
「食べる力」を支えるパートナーとして、
栄養面から治療と回復に寄り添ってまいります。

おおぞら病院のとりくみ

リハ・口腔・栄養連携体制加算を算定しています

近年「リハ・栄養・口腔」は三位一体と言われており、入院早期からリハビリを実施し、入院患者の日常生活動作を改善するためにも重要とされています。
R6年度の診療報酬改定より急性期病棟で、入院早期からリハビリ、栄養、口腔管理を一体的に実施する体制を整えている病院が算定できる基準が設けられています。現時点でこの加算を算定しているのは松山市内で当院だけです。

